

>>>> **かごしまシラス産業おこし企業ガイドブックを刊行** <<<<

当センターでは、地域資源のシラス（火山噴出物）を活用して開発した製品や、優れた技術を有する企業情報を掲載した「かごしまシラス産業おこし企業ガイドブック」を発売しました。

県内のシラス関連企業の優れた技術等を広く紹介することにより、シラス産業の活性化につながることを期待しています。配付を希望される方は当センターまでご連絡ください。



>>>> **九州沖縄地域公設試&産総研活用フォーラムで優秀賞受賞** <<<<

昨年9月30日、北九州の西日本総合展示場にて開催された平成22年度産業技術連携推進会議九州・沖縄地域部会及び九州・沖縄地域産業技術連携会議の合同事業「九州・沖縄地域公設試&産総研活用フォーラム」において、(有)瀬戸口瓦工場の瀬戸口和徳専務取締役と当センターの袖山研一研究専門員が「火山噴出物を用いた軽量断熱シラス瓦の開発」について発表を行い、来場者評価により、「優秀賞」を受賞（平成23年2月17日）しました。



袖山研一研究専門員（左），瀬戸口和徳専務取締役（右）

>>>> **学生指導の結果、加治木工業高校が溶接にて九州1位に** <<<<

昨年8月に開催された九州地区高等学校ものづくり溶接競技大会鹿児島県予選で選抜された鹿児島県代表の生徒を対象に、当センターにて学生指導を実施しました。8月26日から31日までの実技特訓が実り、昨年11月20日から21日に大分市で開催された第3回九州地区高等学校ものづくり溶接競技大会で、加治木工業高校が団体優勝（亀澤さん、重森さん、牧之瀬さん）を果たしました。

また、加治木工業高校の亀澤さんが男女個人の部で第2位に、出水工業高校の東中野さんが女子個人の部で第2位に入賞しました。



団体優勝報告の様子

加治木工業高校の 重森俊輝さん（左），牧之瀬佑紀さん（右）

>>>> 中小企業応援センター支援機関共同セミナーを開催 <<<<

2月18日(金)にパレスイン鹿児島において、「中小企業応援センター支援機関共同セミナー」を(財)かごしま産業支援センターと合同で開催し、72名の参加がありました。

県内の中小企業が抱えている様々な経営課題に対応するため、下記内容でセミナーを行いました。

- (1) ふるさと秋田元気創造プラン
- (2) 国内・海外の素形材産業の市場動向と方向性



セミナーの様子

>>>> 機器分析技術講習会を開催 <<<<

3月10日(木)に当センターにおいて、(財)JKAからの交付により整備した「機器分析技術講習会（EPMA, X線回折装置）」を開催し、52名の参加がありました。講習会内容は、県内企業の機器分析技術の向上を目的とし、最近更新した分析装置について、装置の基礎から応用までを事例紹介を含め以下の講演と装置見学を行いました。

- ①「EPMAの基礎と応用」  
日本電子株式会社 グループ長 高倉 優 氏
- ②「X線回折の基礎と応用」  
株式会社リガク 副センター長 久保富活 氏
- ③ 装置見学（EPMA, X線回折装置）



講習会の様子

>>>> 工場排水管理技術講習会を開催 <<<<

3月16日(水)に当センターにおいて、「工場排水管理技術講習会」を開催しました。

県内の食品工場の排水処理担当者を対象に毎年行っている講習会で、今年度は178名の参加がありました。講演内容は、以下のとおりでした。

- ①「水質汚濁防止法の施行状況について」  
県環境保全課 山下 一巳 氏
- ②「排水処理の基礎, 微生物製剤について」  
(独)産業技術総合研究所 中村 和憲 氏

- ③「排水処理設備の省エネ・コスト削減方法」  
日鉄環境エンジニアリング(株) 渡辺 一郎 氏  
小林 佑和子 氏



講習会の様子

>>>> 「銅合金中の鉛除去方法」が特許登録 <<<<

県と株式会社九州タブチ、鹿児島大学名誉教授末吉 秀一氏が平成16年12月10日に特許出願した「銅合金中の鉛除去方法」が、10月8日に特許登録されました（特許第4599521号）。

本発明は、従来の水道配管などに用いられている青銅や黄銅などの銅合金中に含まれる鉛の除去方法に関するもので、特に錫を含む銅合金のスクラップから鉛を除去してリサイクルする場合に用いられる銅合金中の鉛の除去方法に関するものとなっています。銅合金を溶解する際に、錫ブロック剤により銅合金中の錫と脱鉛剤との化合を阻止し、次に脱鉛剤を添加・混合させて、鉛化合物を浮上分離する点が特徴です。

この発明により、水道配管用銅合金やそのスクラップから、鉛を効率的に除去して再利用することが可能となります。



>>>> 「藍植物からの藍染め法」が特許登録 <<<<

県が平成16年5月25日に特許出願した「藍植物からの藍染め法」が、1月14日に特許登録されました（特許第4660640号）。

本発明は、藍植物の生葉の高温処理による染色とは逆に生葉を冷凍処理することにより、赤紫色または青紫色に被染物を染色する新規な藍染め法を提供するものです。

例えば、藍植物の葉や茎を冷凍庫に2週間程度保存することで、手軽に、簡単・容易に被染物を赤紫色または青紫色に染色できます。また、熱抽出のため、溶媒抽出時間も短く、従来のようにミキサーなどでの粉碎が不要となります。

この技術により、染料を粉末化し、いつでも、どこでも、容易に還元建て染料として提供することができます。



>>>> 鹿児島県発明協会が工業技術センター内で事業開始 <<<<<

社団法人発明協会は、公益法人制度改革に伴い、全国の支部（東京支部を除く）を平成23年3月31日付けで分離・独立させることとしました。

この方針に基づき、鹿児島県支部は、当支部の組織・事業を引き継ぐ新たな組織として「一般社団法人鹿児島県発明協会」を平成22年12月6日に設立し、平成23年4月1日から事業活動を開始しております。

一般社団法人鹿児島県発明協会は、地域の発明協会として社団法人発明協会との連携の下に発明の奨励、知的財産権制度の普及啓発等の事業の充実に努め、従来にも増して地域の発展に寄与してまいります。

皆様方には、新法人への御支援・御協力を引き続き賜りますようお願いいたします。

- 1 事務所所在地 鹿児島県霧島市隼人町小田  
1445番地1  
鹿児島県工業技術センター内  
TEL 0995-73-5144(直通)  
FAX 0995-73-5146

2 事業内容

- (1) 鹿児島県発明くふう展の開催（毎年11月頃）
- (2) 鹿児島少年少女発明クラブの運営（毎月2回）
- (3) 知的財産権に関する説明会・セミナーの開催
- (4) 発明の奨励等功績者の表彰・推薦
- (5) 知的所有権センター管理運営
- (6) 公報閲覧事業
- (7) 特許等取得活用支援事業  
（知財総合支援窓口）

>>>> 「知財総合支援窓口」のご紹介 <<<<<

県内企業等の知的財産に関する相談に対応するため、平成23年4月から、鹿児島県発明協会内に「知財総合支援窓口」を設置します。

この窓口設置には、九州経済産業局の特許等取得活用支援事業を活用しています。管理・運営は、鹿児島県発明協会が行います。

1 目的

知的財産活用支援の中核として、知的財産に関する悩みや課題を一元的に受け入れる窓口を設置し、様々な専門家や支援機関と共同でワンストップサービスを提供します。

この窓口を設置することで、中小企業等が企業経営の中でノウハウも含めた知的財産活動が円滑に出来るよう、アイデア段階から事業展開までの一貫した支援を行います。

2 事業内容

- (1) 年間を通じた相談業務の実施  
月曜日～金曜日 08:30～17:15  
知的財産権制度の概要説明  
特許電子図書館の情報検索指導  
特許出願等手続支援(電子出願支援等)  
料金減免制度等の各種支援施策の紹介
- (2) 常駐の知財専門家の配置  
毎週火曜日、木曜日 13:00～16:30
- (3) 知財専門家の中小企業等への派遣  
随時
- (4) 中小企業支援機関との連携支援  
中小企業経営に知財が効果的に活用されるよう、中小企業支援機関と連携して対応します。
- (5) 事業の周知・広報活動